

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことは一切ありません。

【研究課題名】 第2回 Stevens-Johnson 症候群ならびに中毒性表皮壊死症の全国疫学調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院皮膚科

【研究責任者】 難波千佳（皮膚科 助教）

【研究代表者】 末木博彦（昭和大学医学部皮膚科学講座 教授）

【研究の目的】

2016年～2018年に当科でスティーヴンス・ジョンソン症候群ならびに中毒性表皮壊死症と診断された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、病気の予防や診断・治療に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2016年～2018年に当科でスティーヴンス・ジョンソン症候群ならびに中毒性表皮壊死症と診断された患者さん

（利用するカルテ情報）

1. 診断名
2. 入院日、退院日、年齢、性別、身長、体重、血圧、原疾患、既往歴、免疫に影響を及ぼす薬剤の使用歴等
3. 被疑薬及び投与期間、原因薬剤
4. 臨床症状及び検査所見
5. 重症度スコア

6. 治療、転帰、後遺症

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化し調査票に転記し、昭和大学医学部皮膚科学講座に送られます。

多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究の発表】

この研究で得られた情報は、学会や論文にて発表されます。

【個人情報の取り扱い】

調査票には、性別、年齢、居住地（都道府県のみ）を記載し、名前、住所、IDなど患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

末木 博彦（昭和大学医学部皮膚科学講座 教授）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院皮膚科 難波千佳

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5350